

第4回日本医科大学・早稲田大学合同シンポジウムを開催しました（2024年9月28日（土））

2024年9月28日（土）午前10時から第4回日本医科大学・早稲田大学合同シンポジウムが早稲田大学リサーチイノベーションセンター(121号館)コマツホールで開催されました。

このシンポジウムは、本学と早稲田大学との大学間交流に関する協定に基づき、医理工連携や最新の研究成果を発表し、さらなる連携推進を図ることを目的として開催しました。

当日は、本学の弦間昭彦学長と早稲田大学の田中愛治総長による開会の挨拶の後、第1部では両校の研究紹介として4題の講演、第2部では日本医科大学学生による研究配属における研究成果の発表が行われました。その後、早稲田大学岩崎清隆教授研究室に配属された一色美穂氏、鈴木我太氏、土井一樹氏の3名が「第4回日本医科大学・早稲田大学合同シンポジウム 優秀研究賞」を受賞し表彰されました。最後に早稲田大学の須賀晃一副総長と本学の桑名正隆大学院医学研究科長の閉会の挨拶があり、シンポジウムが閉会となりました。

次回の開催に向けて、両校の教育・研究協力のさらなる発展を目指して進めていきたいと思っております。



日本医科大学 弦間昭彦 学長



早稲田大学 田中愛治 総長

プログラムは以下のとおりです。

◆第1部「研究紹介」

〔座長〕早稲田大学 合田亘人（研究推進部参与）

日本医科大学 桑名正隆（大学院医学研究科長）

1. 日本医科大学 村上義則（分子生物学 特命教授）

「多層的生体情報の統合による新規疾患予防法の開発」

2. 早稲田大学 酒井哲也（理工学術院 教授）

「頭部MRI画像を用いた研究の進捗少々および関連しそうな画像処理分野の話題」

3. 日本医科大学 山本林（遺伝子制御学 大学院教授）

「液滴オートファジーとエクソソーム分泌」

4. 早稲田大学 澤田秀之（理工学術院 教授）

「末梢神経障害診断法の開発ならびにヒトの手の解剖学的構造を再現したBionic Fingerの開発」



研究紹介の様子（左から村上特命教授、酒井教授、山本大学院教授、澤田教授）

◆第2部「日本医科大生による早稲田大学研究配属の成果発表」

〔座長〕早稲田大学 後藤正幸（教務部副部長）

日本医科大学 酒井真志人（研究配属実行委員会委員長）

1. 岩崎清隆教授研究室配属 一色美穂、鈴木我太、土井一樹
課題名「未来医療を創造する医工学研究」
2. 棟近雅彦教授研究室配属 長瀬尚、横溝佳那子
課題名「看護師応援業務の標準化に関する研究」
3. 梅津信二郎教授研究室配属 大島峻央、高橋 利太
課題名「A: 汗センサ B: 痛みの理解／災害時に生存者を発見するためのサイボーグ昆虫」
4. 浜田道昭教授研究室配属 小池弘一郎
課題名「次世代シーケンシング（NGS）解析演習」
5. 岩田浩康教授研究室配属 宇佐美拓人、中村甫、服部真尋
課題名「A I／ロボット技術を用いた遠隔医療に関する研究・実習」



成果発表・質疑応答の様子



左から本学 弦間昭彦 学長、優秀研究賞を受賞した本学学生、早稲田大学 須賀晃一 副総長